

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)イオン東岸和田	階数	地上2F
建設地	岸和田市土生町	構造	S造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	1,000 人
地域区分	6地域	年間使用時間	5,110 時間/年(想定値)
建物用途	物販店,飲食店,病院,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年9月 予定	評価の実施日	2022年11月7日
敷地面積	17,975 m ²	作成者	前田 幸陽
建築面積	5,159 m ²	確認日	2022年11月10日
延床面積	9,301 m ²	確認者	伊藤 公



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 82%
③上記+②以外の 82%
④上記+ 82%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 2.9

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
	0	
Q1 室内環境 使用する内装材はF☆☆☆☆とする設計条件としている。	Q2 サービス性能 ゆとりのある空間となるように階高に余裕を持たせている。	Q3 室外環境(敷地内) 道路に面した部分や施設利用者の憩いの場となるイベント広場まわりには低木・中木・高木をバランスよく配置した植栽計画を積極的に行い、緑と潤いのある空間を目指している。また、樹種についてはこの地域で生育しや
LR1 エネルギー 可能な限りLED照明を採用した。	LR2 資源・マテリアル ODP=0の発泡剤や冷媒を採用した。	LR3 敷地外環境 卓越風向に対して建物見付面積を抑えた計画とした。客用と荷捌き用の車両駐車場を分けて計画した。ゴミの分別回収容器を設置するなど、ゴミの分別回収を推進する取組みを行う。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R4-0108

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	(仮称)イオン東岸和田						
	建設地	岸和田市土生町						
	用途/区分	物販店 飲食店 病院						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						B-	
①	CO2削減						4	
②	みどり・ヒート アイランド対策						2	
③	建物の断熱性						4	
④	エネルギー削減						3	
⑤	自然エネルギー直接利用						—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—
エネルギー消費量の報告								
【評価項目】								
	項目	評価内容	スコア	評価				
①	CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.7	4				
②	みどり・ヒートアイランド対策							
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	2				
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	2.0					
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0					
③	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	4.0	4				
④	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	3.0	3				
⑤	自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	—				
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない				
その他								
	先進的技術の導入	技術の名称	考慮事項					
	特に配慮した事項							